

復興に向けた町長メッセージ

公開日 2024年04月30日

更新日 2024年04月30日

はじめに

令和6年1月1日に発災した能登半島地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔みを申し上げますとともに、負傷された方々や被災されました皆様方に心からお見舞いを申し上げます。

未曾有の大震災により、町内では負傷された方や、住家・被住家を含めて5千棟を超える甚大な被害が確認されています。

加えて、地区の集会所や寺社、道路や上下水道施設、農林業施設等にも甚大な被害を受けましたが、国や、姉妹町である三重県紀宝町の皆さん、対口支援をいただいている岐阜県庁並びに岐阜県内の市町村の皆さん、そして、防災協定を締結している富山県上市町の皆さんや、熊本地震で被災した経験での災害対応をご支援いただいた熊本県御船町の皆さん、福島県南相馬市の皆さん、断水時に給水車を派遣し給水支援をいただいた三重県紀宝町をはじめ、福井県福井市、越前市、坂井市、小浜市、永平寺町の皆さん、災害ごみの支援で茨城県常総市の皆さん、加えて下水道管路の被災調査や、様々な応援、ボランティア等で、全国の民間企業や団体、全国の市町村の皆様方から多くのご支援を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

そして、何より石川県の力強いご支援をいただいているところでもあります。

こうした状況から、中能登町の上下水道は、1月中旬にはおおむね通水を再開することができ、避難所につきましても3月末には避難者が不在となったことから閉鎖することができました。現在は復旧と復興に向けてのスタートラインに立ったところと考えております。

まずは、被災した皆様方の一日も早い生活再建を図るため、罹災証明書の早期交付に向けて調査を迅速に進めております。また、生活再建支援金や義援金、公費解体等の手続きに応援職員も含めて全力をあげて取り組んでいるところです。

しかし、今般の能登半島地震の被害状況は未曾有の災害であったことから、復旧と復興には多くの時間が要することが想定されています。

中能登町といたしましても、町民の皆様方の日常生活が取り戻せるよう、そして、ふたたび中能登町で安心して日常の暮らしと充実した日々が送れるよう、復旧と復興、そして地域振興に向けて町民の皆様方とともに力強く歩みを進めてまいりますので、ご理解と御協力をお願いいたします。

復旧・復興に向けた基本方針

被災者の皆様方が、互いに支え合い、強い絆で結ばれた中で、元の生活や暮らしができるよう、道路や上下水道の復旧と安定供給はもとより、住まいの自力再建に対する支援、仮設住宅の設置も含めて、災害からのより豊かな日常生活の確保を目指します。

震災以前からの課題であった人口減少に拍車がかかりつつある現状を踏まえ、これまで紡いできた『つながり』を基本に、今回の震災で得た『つながり』をより強固に、これからの『つながり』に創造を加え、新たな『つながり』を構築し、復興を推し進めます。

この『つながり復興』を推し進めるためには、震災での課題の検証を行い、その課題を解決するため、『つながり』を活用した環境を整えてまいります。

復興計画策定に向けて

基本理念

『つながり復旧・復興』

つながり復興を創造・創出する3つの将来像（柱）

次に、『つながり復興』を着実に実践するための方向性をお示しします。

(1) 「くらしの復旧・復興」

- ・被災者の生活再建及び住宅や宅地の再建支援
- ・被災者の心身ケアの充実と保育、教育環境の整備
- ・地域を担う人材の育成と支援
- ・予防防災活動や災害備蓄の推進

(2) 「なりわいの復旧・復興」

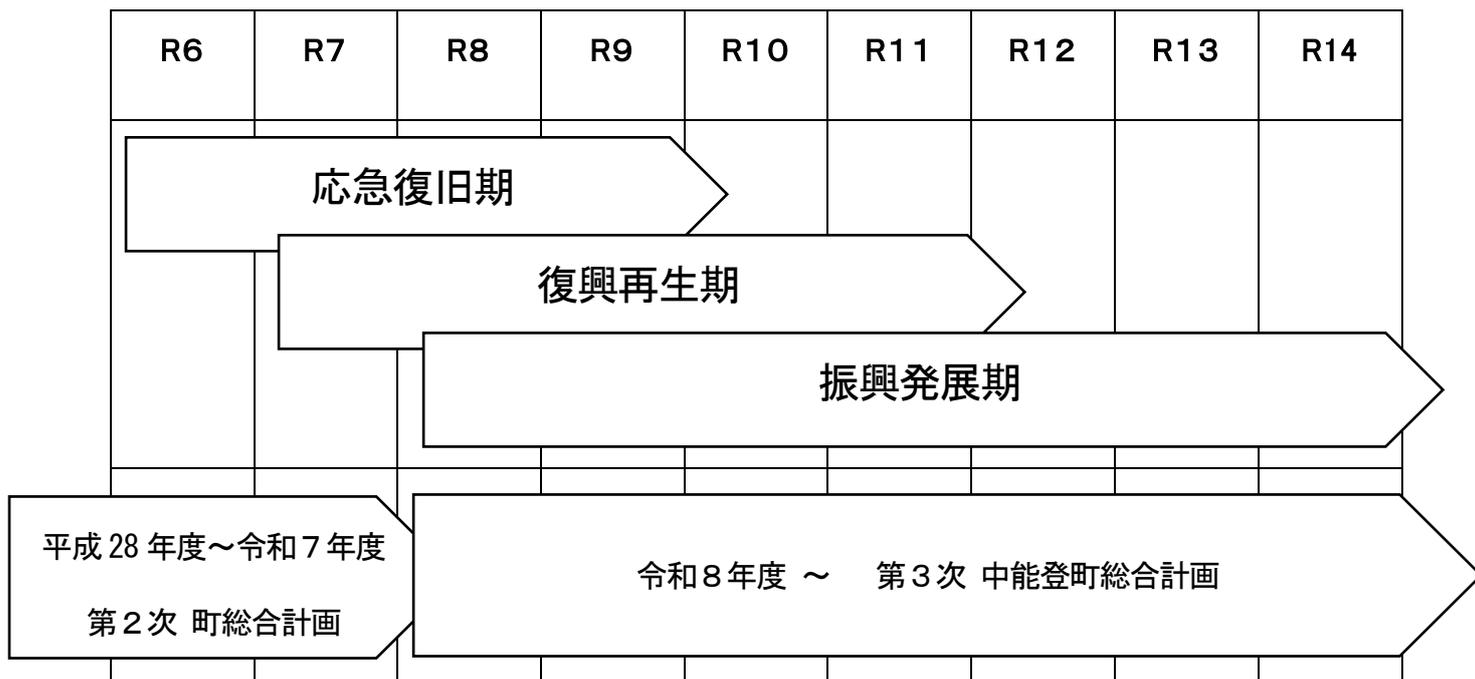
- ・地域産業の再建支援及び企業誘致や創業支援の推進
- ・農地や施設等の生産基盤の復旧と農業の振興
- ・交流人口やつながり人口の拡大推進

(3) 「まちの復旧・復興」

- ・地域防災機能の見直しと強じん化
- ・地域の防災力向上に向けた支援
- ・地区集会所等の復旧及び自治組織の支援
- ・健康づくりや生きがいくくり支援
- ・道路や上下水道等の社会資本や公共施設の復旧と強じん化
- ・文化財や町並み等の復旧

つながり復興の目標年次及び計画期間 令和6年度～令和14年度

- 1 「応急復旧期」 令和6年度～令和9年度
- 2 「復興再生期」 令和7年度～令和11年度
- 3 「振興発展期」 令和8年度～令和14年度



結びに

これら3つの柱を実現するため「復興まちづくり計画」の策定に着手し、国や石川県、関係機関からのご支援も頂戴しながら、「つながり復興」の実現に向けて、私自身が先頭に立って、全身全霊をかけて中能登の復旧と復興に取り組んでまいります。

結びに、被災者のみなさまをはじめ、中能登町民のみなさま、そして日本全国の“ふるさと”中能登町を支えていただいている全てのみなさまお願いを申し上げます。

中能登町が復興を成し遂げるその日まで、「つながり」を大切に未来へ希望を抱きながら、共に歩みを進めていただきますよう心からお願い申し上げます。

令和6年4月30日

中能登町長 宮下 為幸